

○平成30年7月豪雨では、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨となり岡山県内でも甚大な被害が発生したことを踏まえ、東部エリアの9水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、流域における浸水被害の軽減を図る。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削【岡山県】
- ・高潮対策【岡山県】
- ・透水性舗装を用いた歩道整備【中国地方整備局】
- ・雨水貯留施設の新設【岡山市】
- ・補助制度を活用した各戸貯留施設の推進【岡山市】
- ・大規模な開発行為に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成【岡山市】
- ・改修を行う農業用ため池について活用を検討【岡山県】
- ・土砂流出対策施設の整備【岡山県】
- ・田んぼダム の普及・啓発【岡山市】
- ・特定都市河川の指定に向けた検討

補助制度を活用した各戸貯留施設の推進【岡山市】



道路区間を緊急時の避難場所として活用【中国地方整備局】

備前市全域での取組み

- 立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進
- 情報収集の手段としてドローンを活用
- 地域防災力の強化に向けた自主防災組織の結成促進
- LINEやSNS等を活用した避難情報、避難所開設情報等の発信

瀬戸内市全域での取組み

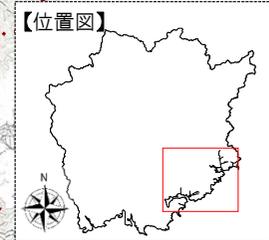
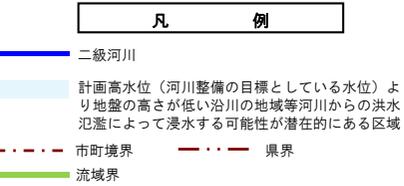
- 止水板設置に対する助成
- 地域防災力の強化に向けた自主防災組織の結成促進
- 情報収集の手段としてドローンを活用
- 防災アプリを用いた情報発信

岡山市内全域での取組み

- 立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進
- 止水板設置に対する助成
- 地域防災力の強化に向けた自主防災組織の結成促進
- 内水ハザードマップを公表

玉野市内全域での取組み

- 地域防災力の強化に向けた自主防災組織の結成促進
- 内水ハザードマップを公表
- LINEやSNS等を活用した避難情報、避難所開設情報等の発信



防災教育教材を東備地域事務所管内の中学生に配布【岡山県】

避難所混雑状況配信システムによる避難所に関する情報発信【岡山市】

■被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進【岡山市、備前市】
- ・浸水ハザードエリアにおける開発抑制【岡山県、岡山市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・可搬式排水ポンプの配備【岡山市・赤磐市】
- ・止水板設置に対する助成【岡山市・瀬戸内市】
- ・避難所混雑状況配信システムによる避難所に関する情報発信【岡山市】
- ・地域防災力の強化に向けた自主防災組織の結成促進【岡山市・玉野市・備前市・瀬戸内市・赤磐市】
- ・情報収集の手段としてドローンを活用【備前市・瀬戸内市・赤磐市】
- ・道路区間を緊急時の避難場所として活用【中国地方整備局】
- ・内水ハザードマップを公表【岡山市・玉野市】
- ・防災アプリを用いた情報発信【瀬戸内市】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・タイムラインの運用・改善
- ・LINEやSNS等を活用した避難情報、避難所開設情報等の発信【玉野市・備前市・赤磐市】
- ・防災教育の実施
- ・水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供【岡山県】
- ・総合水防演習や講習等の実施による水防活動の強化
- ・水害リスク情報空白域の解消【岡山県】
- ・重要水防箇所の情報提供【岡山県】

○ 東部エリアでは、流域に関連する機関が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】被害を未然に防ぐために、雨水貯留施設の新設。また、浸水リスクを考慮した立地適正化計画策定に向けた検討や計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進を図る。被害軽減策については、水害リスク情報空白域の解消、水位計や河川監視カメラによる河川情報を提供するとともに、防災教育や、避難所混雑状況配信システムによる避難所に関する情報発信などを実施し、逃げ遅れゼロを目指す。

【中期・中長期】幸崎川、藤井川の堤防整備、河道掘削を実施するとともに、立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進及び上記の被害軽減策について、継続的に実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削を実施	岡山県	幸崎川・藤井川		
	雨水貯留施設の新設	岡山市	→		
	補助制度を活用した各戸貯留施設の推進	岡山市	→		
	大規模な開発行為等に伴う雨水流出抑制施設の整備に対する助成	岡山市	→		
	土砂流出対策施設の整備	岡山県	→		
	高潮対策を実施	岡山県	→		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく浸水リスクを考慮したまちづくりの推進	岡山市、備前市	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難所混雑状況配信システムによる避難所に関する情報発信	岡山市	→		
	内水ハザードマップを公表	岡山市、玉野市	→		
	LINEやSNS等を活用した避難情報、避難所開設情報等の発信	玉野市、備前市、赤磐市	→		
	防災教育の実施	岡山県、岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町	→		
	水位計や河川監視カメラによる河川情報の提供	岡山県	→		
	水害リスク情報空白域の解消	岡山県	→		

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

■事業規模
河川対策(約16億円)
砂防対策(約3億円)
海岸対策(約65億円)